

2025年度 ニチキッズ佐賀医大通り保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年2月10日（火）～2月24日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に基づき、子どもたちが「おもいっきり遊び」「おもいっきり学ぶ」経験の中で子ども一人ひとりの心に寄り添った保育を実践し、子どもが自ら主体的に自由に表現することを尊重し、子どもの気持ちを汲み取り受け止めながら保育環境作りに努めた。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達段階や興味・関心を捉え、日々の活動を柔軟に計画・実施しながら子どもの発想を大切にし、振り返りを次への援助へと繋げ、着実な成長を支え保育を行うことができた。その子に合った保育を実践することで職員の保育の質の向上にも繋がっている。
保護者に対する支援	登降園時の会話や連絡帳を通じ、日々の情報共有を密に行いながら保護者の気持ちに寄り添った丁寧な対応を心がけた。また、行事などを通じた交流により、子どもの成長を共に喜び合える信頼関係を築くことができた。
保育を支える組織的基盤	園内外の研修に積極的に参加し、得た知識や技術を職員間で共有することで保育の質の向上を図った。日常的な振り返りを大切にし、チーム全体で課題を明確にしなが、よりよい保育環境づくりに努めた。職員それぞれが必要なことを話し合い、その都度解消していく流れが園全体として構築できるよう取り組んでいきたい。

総評
<p>保育理念に基づき、一人ひとりの発達や心情に寄り添った保育を実践することができた。保護者様との緊密な連携により、一年を通して大きな事故や感染症の流行もなく、安全・健康に過ごせたことは大きな成果である。今年度は特に食育活動に注力し、子どもたちが自ら「おいしいね」と感じる、食への意欲と豊かな感性を育むことができた。次年度も、この年齢ならではの発見や喜びを大切に、子どもたちが「保育園大好き！」と笑顔で過ごせるよう、職員一丸となって質の高い保育を提供していきたい。</p> <p>次年度の目標に向かってこれまで以上にしっかりと保育環境も整えていきたいと思う。</p>